



### 総括質疑とは??

予算等審査特別委員会の全体会議において、会派ごとの持ち時間制で行う質疑のことです。

今定例会では、32人の議員が行いました。



**高齢者の介護予防及び社会参加の促進を図るため、補聴器購入費を助成する。**

**問** 加齢性難聴の高齢者を対象とした補聴器購入費助成について、予算総額を増額する一方で、補助上限額を5万円から3万円に減額する理由は。

**答** 7年度から実施した本事業は想定を上回る申請があったため予算を増額したが、限られた財源の中でより多くの高齢者に助成することで、社会参加の阻害要因を取り除くことを優先すべきと考えたためである。

**問** 申請実績から、潜在的な難聴者は多いと考える。難聴に

### 高齢者への補聴器購入費助成の取り組みは

**答** 対する啓発や実態把握をさらに進める必要があるのではないかと考える。補聴器購入者に実施したアンケート結果をもとに、事業効果や利用状況の検証を進めるとともに、補聴器の選び方などの講座を開催した。今後も、加齢性難聴の早期発見に有効な啓発手法を幅広く検討していく。

助成事業案内パンフレット



**問** 介護人材の育成等や、介護事業所の業務負担軽減のため、システム導入経費を補助する。

**答** 介護事業計画・第9期介護保険事業計画では、デジタル技術等の積極的な活用について示しているが、市はどのように介護DXに取り組んでいるのか。

**答** 健康づくりを習慣化するアプリなど、スマートフォンを活用し、高齢者の生活を支えるDXを進めるとともに、介護事

### 介護DXの推進に向けて

業者への研修等を通じ、DXの普及等に取り組んでいる。

**問** 介護事業所職員の高齢化や人材不足の中、介護DXによる事業所支援の取り組みは。

**答** 介護事業所間におけるケアプラン情報の共有が可能となるシステムを導入する事業者に、導入経費の補助を実施する予定である。これまでの研修等と併せ、より効果的に介護事業所のDXを推進し、生産性向上を支援したいと考えている。

### すべての子どもたちが健やかに育つために

児童とその家庭が抱える課題に応じて支援するとともに、関係機関と連携し、虐待防止等を図る。



児童育成支援拠点事業で養育環境等に課題を抱える児童と保護者を支援

**問** 市は、虐待やネグレクトの状態にある子どもたちへの対応に当たり、最も必要なものは何であると考えているのか。

**答** 養育環境に課題を抱える家庭や学校に居場所がない児童を対象に、安心して過ごせる居場所を提供する必要があると考えている。そのため、個々の児童の状況に応じた包括的な支援を行う児童育成支援拠点事業を8年度から実施し、児童の置かれている環境改善や虐待防止につなげていきたいと考えている。

**問** 養育に困難を抱える家庭が、児童育成支援拠点事業の利用をためらわないようにするための対応は。

**答** 本事業は、こども家庭センターが支援している児童を対象としており、保護者と信頼関係を構築した上で、児童にとって有意義であることを理解してもらい、利用につなげていきたいと考えている。